

公民館運営審議会 会議概要

1	審議会名.....公民館運営審議会
2	日時.....平成26年3月24日 午前10時から午後0時10分
3	会場.....教育委員会事務所 講堂
4	出席者.....内田 昭三会長、宮川 智江古副会長、三澤 恒男委員、曾根原 幸人委員、望月 芳雄委員、佐治 良夫委員、関 晏弘委員、平倉 勝美委員、大友 博秋委員、小林 直丈委員、池上 禮子委員、奥田 佳孝委員 欠席者.....松尾 基委員
5	市側出席者 教育委員会須澤教育長、北條次長、社会教育課赤羽課長、中央（三郷）公民館千國館長、豊科公民館内川館長、穂高公民館中村館長、堀金公民館平倉館長、明科公民館浅見館長、中央公民館丸山主事、藤森主事、松谷主事
6	公開・非公開の別.....公開
7	傍聴人 0人.....記者 0人
8	会議概要作成年月日 平成26年4月4日
協 議 事 項 等	
1	<p>会議の概要</p> <p>(1) 開 会 宮川副会長</p> <p>(2) あいさつ 内田会長、須澤教育長</p> <p>(3) 審議事項</p> <p>①平成25年度公民館事業報告について</p> <p>②平成26年度公民館事業計画について</p> <p>(4) その他</p> <p>(5) 閉 会 宮川副会長</p>
2	<p>審議事項</p> <p>(1) 平成25年度公民館事業報告について（説明：各公民館長、丸山主事）</p> <p>【委員】 各地域の公民館の活動が活発に行われていることは分かりましたが、地域だけでなく安曇野市で大体的に行っている内容もありますので事業に反映していただきたい。</p> <p>また、資料については、期日順でなく事業ごとにまとめたほうが各館の重点事業が確認しやすいと思います。</p> <p>【会長】 いろんな活動の中で安曇野市として一つにまとめてできることもあるのではないかと指摘ですが、中央公民館で行うことも考えていただきたい。</p> <p>【事務局】 9月講演会を行いました、市内全域から参加者がありました。来年度も同じ講師で開催する予定ですので、全市民対象で行う方向で検討しています。委員の意見のとおり、もっと取り組んでいくべきと思います。</p> <p>【会長】 それぞれの公民館で行う事業について、他地域の市民へも参加を呼びかけていただきたい。</p> <p>【委員】 各事業の評価について、ほとんどが「良い」となっているが、課題や反省もあると思うので、発展させていくにはそれらの記載も必要ではないでしょうか。</p> <p>【会長】 資料を全部説明すると時間がかかります。良くできたことはそれでいいので、良くできなかったこと、うまくいかなかったこと、どこに問題があったのかを説明があればいいと思っていました。今後検討していただきたい。</p>

【委員】先の委員の発言に賛同します。行事では必ず反省点があると思います。公民館長会で問題点を話し合い、それを反映して事業を進めていただきたい。また、資料にも行事の問題点、悩みなども記載していただきたい。

【会長】多くの委員の考えと思いますのでお願いします。

【委員】各公民館にピアノが設置されていると思いますが、あまり使用されていません。ピアノは弾きこむほど音が良くなると演奏者から聞きました。できれば使いやすくしていただくとともに楽器の特性にあった管理をしていただきたい。

【会長】それぞれの公民館での実態を把握し、市民が自由に手の届くところにあるように配慮をお願いします。

【委員】市民運動会が雨天で中止になりましたが用意した物についての対応と運動会是人集めが大変で役員だけの参加のところもあります。それで果たして成功なのか、コミュニケーションがとれているのか各公民館長から伺いたい。

【事務局】

・今年度の全ての地域の市民運動会が雨天のため中止になりました。また、2月の球技大会も大雪の関係で中止になった公民館もあります。用意したものについては、翌年に回せるものは翌年までとっておきます。消費期限が短いものは次回の類似の大会などに使用、また、地区公民館の役員に配布などの対応をしました。各地域でやり方は違いますが、運動会の経費は、市予算と実行委員会への交付金で運営しています。

・公民館活動で、一番大変なのは人集め、選手集め、チーム作りです。私は、そういうことがあるからこそ、地域の人の絆や地域ができていくと思います。仮に運動会などをやめてしまうと大きな都市のようになり、地域や世代間の交流ができなくなると考えます。役員の方が参加をお願いして歩き、地域の人を集めチームを作るといった大変な作業が地域をつくっていくと思います。地区公民館の役員の方にはそのようにお願いしており、納得していただいていると思っています。大変なのでやめるのではなく、大変だから行うことが私どもや地区公民館の役員の仕事と考えます。それによって地区はずっと地域の姿として残っていくと思います。

・運動会を区対抗で行っており、年々参加する区が少なくなっています。反省会の中でやめたらどうかという意見もありますが、公民館としては世代を超えた交流の場が無くなってしまいますので是非継続していただきたいとお願いしてきました。アンケートをとると反対が多くなってしまうのでアンケートは実施しませんでした。準備したものは返品できるものは返品し、できないものは翌年に利用します。

・パン食い競争のパンは、地域内のアルプス学園に差し上げました。その他は翌年に利用します。運動会をやめるといった意見は地区公民館長からもアンケートからもありませんでした。むしろやってよかったという意見のほうが多かったです。実情では集落の大きさとは無関係で、大きな集落のほうが選手を出しにくいこともあるようです。役員の人的つながりで参加者を集め、各世代の人のつながりが具体的にできていると思います。

・消費期限のあるものは、前日の準備、当日のテントの撤去を雨天の中、行っていただきました体育協会、地区公民館の役員の方々と地区公民館では練習を行っているため、その慰労会を行う地区公民館へ配布しました。他のものは翌年に使用します。運動会については、地区公民館の負担を考え、スポーツ少年団、各種団体の種目を多くして地区公民館の対抗種目を減らしてきましたが、反省会では地区公民

館対抗の種目を増やしてほしい意見が出始め、前向きになってきていると感じました。以前、運動会をなくそうという話もありましたが、やめれば二度と立ち上げられないので大変だけどやっていこうと思っています。地区公民館の役員も大変ですが地域がまとまり、大勢が一堂に会することの大切さを承知していただいているので継続していきたいと考えています。

・文化祭時のお楽しみサロンで使用しました。その他の消費期限があるものは、各地区公民館の慰労会で使っていただくようにしました。他のものは冬季のスポーツ大会で利用しました。運動会については、小さな地区公民館もあり大変ですが「運動会をやめてはいけない」を合言葉にスポーツを通して親睦を深められる事業は他にないと職員、スポーツ推進員、各団体の方々と話し合いをして最小限の準備で最高に楽しめるように計画しています。ここ数年は、プログラムの見直しを行い、準備、片付けを自主的に参加者から協力していただいています。先ほどの指摘のとおり、今後継続していくにはどうすればいいかを問題点として事業を検討していきます。

【会長】各館長の発言に感激しました。人集めで苦勞している人がいるおかげで地域社会は築かれています。やめてしまえば地域社会は成り立ちません、苦勞している話は心打つものであり、館長に感謝申し上げます。

【委員】三郷公民館のふるさと講座が充実していると思いますが、他の公民館ではこのような講座を行っていませんので公民館長会で話し合い広めていただければと思います。中央公民館事業の総合芸術展は実行委員に任せたと説明がありましたが構成員はどのように選出しましたか。また、今後もこのように行いますか。

【事務局】良い事業などについては公民館長会で協議して、取り組んでいきたいと思っています。総合芸術展の実行委員については、過去2回、作品が集まらないなどの苦勞があったため、実行委員会を立ち上げる会をまず組織しました。この構成員には過去の出展者に依頼し、実行委員会の中心メンバーになっていただきさらに構成員を集めました。このような体制で総合芸術展の企画、作品募集しましたので形としてはいいものができましたが、まだまだメンバー的には広がりがないので、来年以降は広く人選し、再度実行委員会を作ったほうがいいのではないかと指摘をいただいています。これを踏まえた上で、今後も取り組んでいきたいと考えています。

(2) 平成26年度公民館事業計画について(説明:各公民館長、丸山主事)

【委員】同じような人口の地域でも予算の違いがありますが。

【事務局】この資料は、公民館事業について抜粋しているものです。各地域で行っている事業についても若干のばらつきがあります。このほかの生涯学習の分野で使う予算もあり、それぞれ重点事業が違うので一概に比較ができません。また、合併以前から行っているオリジナルの事業を重視しており人口による配分などは行っていません。

【委員】豊科の運動会予算が減っておらず昨年度と同じ金額が記載されていますので精査をお願いします。

【委員】企画とか発想については、マンネリ化をあまり心配しないでいただきたい。世代も交代しますので毎年、繰り返すことのすばらしさをもっと広げることもいいと思います。何十年前か堀金で行っている駅伝大会に社員が参加しておりいい地域だと思いました。歴史があり残すべきでありすばらしいと思います。行事を立ち上げるときあまり強引過ぎてもいけません。行事をやめるか継続するかを判断するにはアンケートは危険です。住んでいる地区も運動会に参加しなくなったのは、そのときのアンケートの失敗であり、これをなんとか復活させなければいけないと考えている人も結構でっており、個人

的にもそう思っています。

また、2月の大雪の際、穂高商業高校野球部の生徒が地区内の雪かきを行いました。地域に関わりたい、関わることのすばらしさを感じてもらっています。私どもの地区ではお礼に硬式ボールを差し上げる程度ですが、交流は大事だと思います。敬老会には琴部から来ていただいて、地域から声をかけていただいたことが喜びだと感想をいただきました。全ての事業には完璧はあり得ませんが、自問自答しながら継続性のすばらしさを本日強く感じました。

【委員】 予算の提示はありますが、実績についてはありませんので分かるようにしていただきたい。この場で発言していか分かりませんが、三郷公民館では普通救命講習会を行っています。AEDを設置している施設があまりありませんので、設置箇所を増やすことも考えていくべきです。

【委員】 公民館長がいままで一緒に活動してきた地区公民館長との反省会を行っていますか。それが翌年度の事業の大きなエネルギーになると思います。

【事務局】

- ・年度最後の会議で全体を通して行い、課題を出していただき次年度事業に反映しています。
- ・12月に行っており、意見をいただいています。
- ・年6回会議を行っており、イベントごとの次回の会議で意見をいただいています。また、イベント開催から会議までの期日が高い場合は、アンケート用紙を事前に配布し、次回に提出していただいています。それを会議の中で全員に確認していただき、次につなげるようにやっています。
- ・1年間をまとめてアンケートをいただきました。参考にしています。

3 その他

昨年度審議した条例の改正案状況について

公民館の窓口対応について

公民館運営審議会委員任期満了に伴うお礼（教育長）